

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告【令和2年度事業実施分】

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

報告日: 令和3年9月15日

交付金名	No	① 交付対象事業の名称 事業費の内訳	② 交付金額 (総事業費) 単位:円	③ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				④ 本事業終了後における 実績値		⑤ 外部有識者からの評価		⑥ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標(昨年度からの増)	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
推進交付金 (50/100)	1	中越文化・観光産業支援機構による歴史資源・行政視察を活用した広域観光 【農業農村体験交流施設事業管理委託料】 ・越後妻有上郷クローブ座管理運営委託料 2,100千円 【観光PR事業】 ・印刷製本費 596千円(津南町観光総合パンフレット作成) ※広域連携市町村(12市町村) 長岡市、三条市、柏崎市、小千谷市、十日町市、見附市、燕市、魚沼市、南魚沼市、弥彦村、出雲崎町、津南町	1,200,000 (2,696,200)	指標①	観光入込客数 3万人増	630,000	人	R3.3	200,160	地方創生にある程度効果があった	総合戦略のKPI達成に多少有効であった	・コロナ禍でレストラン営業や各種演劇などイベント公演、劇団や大学の合宿の受入などすべての事業の自粛が余儀なくされ、上郷クローブ座に対する地元住民の関心度は上がらない。そのなかでも、香港ハウス利用者も含め来町者と地元住民との関わりを少しずつ広げていきたい。 ・コロナの影響は続くと思われる。地元住民が利用しやすい施設になるよう見直す必要がある。 ・コロナ禍においてすべての観光のあり方を見直す必要がある。ポストコロナを見据え、もう少し戦略的に長期的持続する取組にするべきである。	本事業内容の見直し・改善を行うべき	・現在、上郷クローブ座において実施できる事業は限られたとしても、地元住民との関りを広げるため、対面式ではなくWeb形式での交流など施設情報の周知や運営方法を見直していくとともに、利用しやすいよう施設内の感染対策を講じていく。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のやり方が通用しないため、例えばインバウンドであれば、新潟空港からのモデルコースを設定するなど、広域の枠組みのあり方そのものを再検討する。
	2	苗場山麓ジオパークユニバーサルデザインツーリズム推進事業 【ユニバーサルデザインツーリズムPR事業】 ■委託料1,735,231円【うち津南町負担額1,179,957円】 ・解説看板データ作成198,000円(結束石垣田) ・ジオサイト草刈り、トレッキング道開削613,231円 ・ジオパークホームページ更新管理594,000円 ・解説看板データ修正330,000円(前倉橋の結束層、甘酒村跡) ■需用費828,548円【うち津南町負担額563,413円】 ・印刷製本費785,510円(ガイドブック実践編 800部、ジオパークマップ 5,000部、ジオだよりVol42~47 2,100部×6回) ・消耗品43,038円(ジオサイト管理・散策等開削 他 消耗品) ■使用料及び賃借料999,600円【うち津南町負担額679,728円】 ・河岸段丘形成実験器具(正式名称:エムリバージオモデルEm3) 【ユニバーサルデザイン普及推進事業】 ■報酬(専門員2名、事務員1名)5,239,014円【うち津南町負担額3,562,530円】 ■報償費70,300円【うち津南町負担額47,804円】 ・各部会70,300円(資源探査部会、商品開発部会、広報部会、ガイド部会) 【整備事業】 ■見玉公園駐車場及び車椅子用道路舗装工事834,900円【うち津南町負担額567,732円】	2,133,000 (6,601,164)	指標①	観光入込客数 1万人増	720,749	人	R3.3	211,704 ※津南町・栄村合算値	地方創生にある程度効果があった	総合戦略のKPI達成に多少有効であった	・各事業は地に足の着いた内容であり、今後とも継続する価値がある。 ・コロナ禍であり、観光・訪問の入込数の減少は止むを得ない現状にある。 ・ガイド数の増加は、コロナ禍でも出来ることを実施するという工夫があらわれている。 ・ポストコロナに向けて、積極的に展開できる方をプランしてほしい。	追加等さらに発展させていく	・資源探査部会、商品開発部会の更なる発展に努める。 ・地道に継続することによって効果を高める。 ・コロナ下での移動制限のために、目標の人数に達していない。ジオパーク認定ガイドの数が増加している事は、評価すべき事で、ユニバーサルデザイン事業によって参加者のモチベーションが上がっていることを示している。今後は、SNSやYoutubeなど多くの人がアクセスしやすい方法でのアピールが重要になる。 ・津南ジオでは、ユニバーサルデザインとしてどんな取組をしているのか、どんな場所が見学可能なのか等をHPでアピールしていく。例えば、車椅子利用でも見学できる場所(ツアー)の明示するなど、車椅子での来訪がイメージできるよう取り組んでいく。
				指標②	苗場山麓ジオパーク認定ガイド数 2人増	74	人	R3.3	77					
				指標③	障がい者の宿泊者数 10人増	374	人	R3.3	12					